

**塾 長**  
大同大学学長 理学博士  
宇宙航空研究開発機構技術参与  
**澤岡 昭氏**  
昭和13年北海道生れ。北海道大学修士課程修了。理学博士。東京工業大学応用セラミックス研究所所長を経て、平成11年大同大学学長に就任。その間、宇宙開発事業団（現：宇宙航空研究開発機構）研究統括リーダーとしてスペースシャトルを利用した宇宙実験、国際宇宙ステーション計画などに参画。現在も宇宙航空研究開発機構技術参与として、宇宙の産業利用についての推進役を担う。

**スーパーバイザー**  
都市設計家  
核融合科学研究所客員教授  
**山田 雅夫氏**  
昭和26年岐阜県生れ。東京大学工学部卒。つくば科学万博、横浜博覧会の会場設計・構成に携わり、東京臨海副都心、横浜みなとみらい21構想案づくりなどに参画。最近は日用品や建材などの商品企画開発コンサルティングも受注しており、ユーザーの視点をとりいた商品コンセプトづくりにも詳しい。

**スーパーバイザー**  
名古屋工業大学大学院教授・工学博士  
**梅崎 太造氏**  
昭和34年長崎生れ。名古屋大学大学院博士課程満了。専門分野は、音声・画像情報処理及び福祉デザイン工学で、これまで企業と共同で手がけた聴覚障害児用発話訓練器、指紋照合装置及び画像検査機器がメーカーにより発売され、広く利用されている。2006年グッドデザイン賞受賞「愛知万博出展ロボット“ASKA”」。2008年 産官連携功労者表彰・科学技術政策担当大臣賞受賞「周波数解析法を用いた生体認証装置の開発」。これまで4つの大学発ベンチャーを起業。

1 日目	第1限 (10:00~12:00) 開講式・基調講演	第2限 (13:00~15:00) 世界経渉の概況	第3限 (15:00~17:00)	夜間 (19:00~) 懇親会	4 日目	第1限 (9:30~12:00) 商品開発	第2限 (13:00~15:00) 技術の転用と特許戦略	第3限 (15:00~17:00)	夜間 (19:00~) プレゼン準備
8/ 18 木曜日	「賢材塾」塾長 澤岡 昭氏  原子力開発と宇宙開発の危機管理 東京電力福島原子力発電所の事故処理を巡って壮絶な苦闘が続いている。事故の主因は歴史まれに見る大津波を想定から除外したシステム設計にあります。一方、宇宙開発ではNASAがアポロ13号の奇跡の生還を成し遂げ、その成因は常に想定を超えたトラブル発生に対処する訓練が行われていたことがあります。しかし、想定を超える新たな想定を積み重ねることは膨大なコストが伴い、どこで線を引くかが最大の課題です。	愛知淑徳大学 ビジネス学部・ビジネス研究科 教授 <b>真田 幸光氏</b>  混沌情勢下の企業経営 リスク対比リターンを意識した企業経営の基本の一つを直近の国際情勢を背景にして具体的な現状認識と今後の対策に向けた考察を試みます。		「賢材塾」塾長やスーパーバイザー等との交流会。 塾生同士の親睦を深め、人脈形成の一環に。	8/ 26 金曜日	「賢材塾」スーパーバイザー 山田 雅夫氏  売れる商品はここが違う 買い物市場の現代において、定番商品やオシレーラン商品づくりに向け、事例を通じたヒントを提供します。80対20の法則を適用すれば、自社の商品開発・販売戦略に活用できることを説明しましょう。また売れる配色、商品の素材感など、感性に訴える部分について、基本をしっかりとマスターします。			「10年後を想定した自社の戦略」をテーマに、翌日のプレゼンテーションの準備を行います。

2 日目	第1限 (9:00~12:00) ダイバーシティ・マネジメント	第2限 (13:00~16:00) 経営管理論	第3限 (16:00~17:00) 企業分析	夜間 (19:00~) グループワーク	5 日目	第1限 (9:00~11:00) 技術戦略プレゼンテーション(指導)	第2限 (11:00~12:00) 技術戦略プレゼンテーション(発表)	第3限 (13:00~15:00)	(15:00~15:30) 閉講式
8/ 19 金曜日	海外人財ネット 代表 有限会社の森 取締役 中小企業診断士 (元国連職員) <b>野田さえ子氏</b>  異なる能力を持つ人材を活かす 眞のリーダーを目指せ！ 外国人、女性、高齢者、障がい者…。多様な能力を持つ人材を真に活用していくことが次世代のリーダーに求められています。その実践的なコツを、実際に企業が直面した成功・失敗事例の徹底分析や、対応策についてのディスカッション、個別ノウハウ習得のための多様な演習素材を通して、集中的に学びます。	アタックスグループ 代表パートナー 株式会社アタックス・ ビジネス・コンサルティング 代表取締役 公認会計士・税理士 <b>林 公一氏</b>  会社を経営するとは 「技術のわかる経営者、経営のわかる技術者」の育成という視点から、今、会社経営に求められる基本的なコンセプトを説明します。やはり、数字で会社経営を語れるようになるために、企業分析のノウハウは必要不可欠です。	自社の決算書の読み方 会社経営を支える基本的ツールとしての企業分析の基本的な考え方を説明します。やはり、数字で会社経営を語れるようになるために、企業分析のノウハウは必要不可欠です。	ケーススタディ分析 さらに理解を深めるため、チームごとにケーススタディを分析し、翌日、各チームの発表を行います。	8/ 27 土曜日	「賢材塾」スーパーバイザー 梅崎 太造氏  魅力的で説得力ある プレゼンテーション資料の作成 前日作成した(事前に調査・作成した資料も含む)プレゼンテーション資料をより魅力的に、よりわかりやすく、説得力ある資料を作り上げていきます。	「賢材塾」スーパーバイザー 梅崎 太造氏  コメント:塾長 澤岡昭氏・スーパーバイザー 山田雅夫氏  10年後を想定した自社の戦略事例 塾生全員が、10年後を想定し自社の戦略をプレゼンテーション。 プレゼンテーションのテーマの一例としては、経済産業省が2020年における重要成長産業の一つとして位置づけている3Dのディスプレイ/プリント/画像計測・検査と超高密度記録メディアなどの技術の自社業務または新製品への組み込みなど。		修了証書授与  「賢材塾」塾長 澤岡 昭氏

3 日目	第1限 (9:00~10:30) 企業分析	第2限 (10:30~12:00) ケーススタディ発表	第3限 (13:00~16:00) 信頼を得る表現方法と部下とのコミュニケーション術	(16:00~)
8/ 20 土曜日	アタックスグループ代表パートナー 株式会社アタックス・ビジネス・コンサルティング 代表取締役 公認会計士・税理士 <b>林 公一氏</b>  自社の決算書の読み方 前日に続く	秋田 稲美氏  あなたも、部下や自分自身に魔法の言葉を掛けませんか？ プレゼン力が必要なのは、伝えたいことが伝わる「伝え方」を知る事、日々無意識で使っている「言葉」を意識し、相手の信頼を得るプレゼン力の向上と、上司と部下とのコミュニケーション術を学びます。言葉に魔法をかけると、心の底から「やる気」がわいてくる…。選りすぐりの「魔法の言葉」、伝授いたします。		

